

規格外イチゴでパン考案

三重県立宇治山田商業高校

【三重・伊勢】伊勢市にある県立宇治山田商業高校の生徒らは、地元産イチゴの規格外品を使った商品を考案し、校内で販売した。鈴木健一市長や市役所職員に対し、1月下旬に成果を報告した。

これは、情報処理科の生徒がビジネス情報管理の授業の一環として取り組んだもの。生徒らは、グループごとに地域活性化に向けた課題と解決策を考える。

「地産地消」をテーマに選んだ生徒4人のグループは、地元産イチゴ「かおり野」を食材として使用することを決めてJ A伊勢に相談をした。1月中旬には、同J Aの子会社、あぐりん伊勢が栽培す

校内で販売

地産地消に貢献



鈴木市長④に成果を報告する生徒ら

るイチゴの規格外品1㍑を提供した。

生徒らは、地元パン店と協力し、イチゴとホイップクリームなどを使用したコッペパンを開発。数量限定で販売した。